東大和市立郷土博物館だより

光と風

令和８年４月１日発行　第１２８号
東大和市立郷土博物館
207-0031東大和市奈良橋 1-260-2
電話　０４２－５６７－４８００
FAX　０４２－５６７－４１６６

Botanical Art　岸和男　植物画の世界

市報連載コラム「野草の証言」に描かれたペン画を一堂に展示

５月１０日(日)まで開催中

期間中の休館日　月曜日（5 月 4 日は開館）と祝日の翌日

会場　郷土博物館１階企画展示室

植物画（ボタニカルアート）の目的は、「花を紹介し見る目を養うため、植物学を志す学生に知識を教授するため、あるいは人びとに喜びをもたらすためである」とイギリスの美術家・ブラントは言っています。ですから、「植物画家は科学者と美を愛する人びとの間を飛びかうバドミントンのシャトルのようなもの」とも。

植物画家・岸和男氏（1933～2024）は、東大和市報の連載コラム「野草の証言」の挿絵を担当されたほか、郷土博物館の主催する野草教室や植物画教室の講師を長年務められました。

長らく新宿区、豊島区にお住まいでしたが、晩年は東大和市内に転居され、郷土博物館、そして狭山緑地にもたびたび足を運び、植物観察を楽しんでおられました。

今回は「野草の証言」に描かれたペン画を一堂に展示します。どうぞご覧ください。



この展示をきっかけに植物、自然に目を向け、植物画への興味・関心を高めていただけたら幸いです。

春の催し案内

☎マークがついている行事は、事前にお申し込みください。郷土博物館 042-567-4800 までお願いします。

ロビー展示　狭山丘陵で学んだよ

小学生が自然観察・体験をとおして学んだようすを紹介します。自然観察の後に作った詩～のはらうた～などを展示しています。
期間　5 月 6 日(水)まで開催中
会場　郷土博物館エントランスホール

ロビー展示　こいのぼりがいっぱい

期間　4 月 25 日(土) ～5 月 10 日(日)
会場　郷土博物館エントランスホール
大和八幡幼稚園、狭山保育園の子どもたちと私たち職員が作ったこいのぼりが、ロビーに大集合します。皆さん、どうぞご覧ください。

戦災建造物

旧日立航空機㈱変電所の公開

戦災建造物である変電所を公開しています。どうぞお越しください。
公開日　水曜日・日曜日
時　間　午前 10 時 30 分～午後 4 時

変電所のライトアップ

工場が攻撃を受けた 4 月 19 日(日)と 24 日(金)に、ライトアップを行います（内部の公開は行いません)。ぜひ、お越しください。
時　間　午後 6 時 30 分～午後 7 時 30 分
場　所　都立東大和南公園内

☎自然観察会　空堀川の鳥たち

カワセミやイワツバメなど、野鳥観察を楽しみませんか。
期日　4 月 5 日(日)／集合　午前 9 時 30 分 武蔵大和駅下／持ち物　筆記用具・双眼鏡／案内　郷土博物館職員／観察地　空堀川（清水橋～高木橋）　お昼前に解散します。

昼間の星の観察会　太陽と月をみよう

太陽の表面や昼間の月をみます。
期日　4 月 12 日(日)／午前 9 時 30 分～午前 10 時 30 分 (時間内ならいつでもどうぞ) ／案内　星空ボランティア・郷土博物館職員／会場　郷土博物館前

☎星空観察会　月や木星をみよう

月のクレーターや木星のしま模様などを、望遠鏡でのぞきます。冬の星も見納めです。
期日　4 月 25 日(土)／集合　午後 7 時／持ち物　筆記用具、懐中電灯／定員　40 人（申込順）／案内　星空ボランティア・郷土博物館職員／会場　郷土博物館前

☎自然観察会　バードウォッチング

キビタキなど春の渡り鳥を探します。
期日　4 月 26 日(日)／集合　午前 8 時　郷土博物館前／持ち物　筆記用具・双眼鏡／講師　大庭健二さん（都市鳥研究会幹事)・柴田佳秀さん（日本鳥学会会員)・永石文明さん（東京農工大学講師）／観察地　都立東大和公園　お昼頃解散します。

☎自然観察会　野草教室

初夏の雑木林で、コアジサイ、サイハイランなど植物観察。スライド解説もお楽しみに。
期日　5 月 24 日(日)／集合　午前 9 時 30 分・郷土博物館会議室／持ち物　筆記用具／講師　下田治信さん（認定 NPO 法人 KU－MA 会員）／観察地　市立狭山緑地　お昼頃解散します。

☎自然観察会　薬草観察会

ひっぱりだこの名物講師をお招きして、薬草を中心に植物観察を楽しみます。

期日　6 月 27 日(土)／集合　午前 9 時 30 分・郷土博物館会議室／持ち物　筆記用具／講師　池村国弘さん（東京生薬協会広報委員長）／観察地　市立狭山緑地　お昼頃解散します。

☎博物館講座

里正日誌をよんでみよう（パート３）

里正日誌（東大和市文化財）の活字本を読み解くことで、郷土の歴史を深掘りしてみませんか。里正日誌第２巻を読んでいきます。
期日　４月 11 日（土）より毎月第２土曜日（全 12 回）／集合　午前 10 時～12 時・中央公民館視聴覚室／定員 20 人（申込順）／講師　砂田さと子さん（東大和市文化財専門委員）ほか／持ち物　筆記用具、里正日誌（第２巻を事前にご準備ください。）

宇宙の学校

親子で身近な科学工作や実験をする楽しい講座です。
開催日①6 月 7 日（日）②9 月 20 日（日）③11 月 29 日（日）９時 30 分～正午／定員　小学生とその保護者 20 組 40 人（全３回参加できる方）／材料費 1,500 円（年間で）／講師　NPO 法人 KU-MA から派遣／申込　５月８日（金）午前９時開始、東大和市公式ホームページ QR コードから申込。

国の登録有形文化財

旧吉岡家住宅 春の公開

～日本画家吉岡堅二の息吹が感じられるアトリエ～

郷土の日本画家・吉岡堅二の作品と旧宅を公開します。今年は堅二生誕 120 周年です！文化財ボランティアによる「おうちガイド」も実施します。ぜひ、お越しください。
期日　５月 29 日（金）～５月 31 日（日）／時間　午前 10 時～午後４時／会場　旧吉岡家住宅（東大和市清水３－779）／入場無料



プラネタリウム春番組

６月７日（日）まで好評投影中

どの番組も前半に季節の星座を解説します。

一般番組　台風～天体が生み出す大気の渦

地球最大の渦巻現象である「台風」。この巨大な渦は、地球の自転と大気が生み出しています。「台風」が発生するのは、北西太平洋や南シナ海。ほかの地域で生まれたものは違う名前で呼ばれています。太陽系のほかの惑星にも、さまざまな巨大な渦が発生しています。天体が生み出す大気の渦をみていきましょう！投影時間は、星座解説を含め 45 分程度です。
投影日時　開館日　午後３時～

特別番組　新オーロラを見た恐竜たち

約７千万年前、地上にはさまざまな恐竜があふれかえっていました。肉食恐竜・ナヌークサウルスの子ども「ヌック」と、植物食恐竜・アラスカケファレの子ども「ファル」の２匹が出会います。オーロラが輝くアラスカの空の下、太古の昔に生きていた恐竜たちの物語です。投影時間は、星座解説を含め 45 分程度です。
投影日時　土・日・祝日　午後１時～

こども番組　ブルドッグたんていときえたほし

ブルドッグたんていに、とけない謎はありません。この耳、この鼻、この目があれば、どんな事件でも解決します。空に星がなくなってしまったら…。この世に希望がなくなってしまったら…。そんな世界のはなしです。投影時間は、星座解説を含め 40 分程度です。
投影日時　土・日・祝日　午前 11 時～、春休み投影として、４月１日（水）～３日（金）の午前 11 時からも投影します。

＊投影途中での入退場はできません。時間に余裕を持ってお越しください。
＊観覧券は午前９時から館内の券売機で販売します。
☆観覧料　大人 300 円/小中学生 100 円/未就学児は無料

☆夏番組は６月 13 日（土）から投影します。

博物館カレンダー

郷土博物館は４月～６月のあいだ、次のように開館します。■は休館日です。

6 月 9 日～12 日は資料消毒作業のため、博物館はお休みさせていただきます。

	日	月	火	水	木	金	土
４月				1	2	3	4
	5	■6	7	8	9	10	11
	12	■13	14	15	16	17	18
	19	■20	21	22	23	24	25
	26	■27	28	29	■30		
５月						1	2
	3	4	5	6	■7	8	9
	10	■11	12	13	14	15	16
	17	■18	19	20	21	22	23
	24	■25	26	27	28	29	30
	31						
６月		■1	■2	■3	■4	■5	6
	7	■8	■9	■10	■11	■12	13
	14	■15	16	17	18	19	20
	21	■22	23	24	25	26	27
	28	■29	30				

この春の天文ショー

夕方の西の空低くに金星がみえます。4 月 19 日は月が金星の近くにみえてきれいです。木星は、夕方のふたご座にみえます。

5 月 31 日の月は今年最も小さな満月です。

6 月 9 日前後は、木星と金星が並んでみえるようになります。6 月 16 日頃は水星も夕空低くにみえるので、水星、金星、木星をまとめてみることができるかもしれません。

詳しくは『星だより』(月 1 回発行) をご覧ください。(野崎)

まちの文化財　あんなもの　こんなもの

タイムレコーダー



写真のタイムレコーダーは、郷土博物館が開館した平成６年から、厳密に言えば平成６年４月１日から職員が朝夕お世話になってきたタイムレコーダーです。むかしであれば出勤簿にハンコを押して一日が始まるわけですが、郷土博物館に所属していた職員は、みな出勤したらまず打刻が一日の始まりでした。このタイムレコーダーはときどきぐずって、「ぴ～！」と文句を言い打刻を拒否、そのためタイムレコーダーの近くには、以前いた職員の文字で、その対策が掲示されていました。筆者がそれでもうまくいかなくて往生していると、他の職員が来て、「ほらっ」と助け船を出してくれました。

しかし、昨年７月１日出退勤の管理が紙からカード式に代わりお役御免となりました。今は慣れましたが、カードを「ピッ！」とやってちゃんと打刻できたか、その場で見られないことに最初は戸惑いました。出退勤だけでなく、いろいろなものがコンピュータで管理できるようになりましたが、時々ぐずるこのタイムレコーダーは、人によって打刻拒否したり、素直に打刻したり、「このタイムレコーダー、人を見るよねぇ」なんて冗談を言って笑いあっていました。なんだか人間ぽくて面白かったです。(梶原)